

黄城

Ojo News Letter Vol. 43

CONTENTS

特集ようこそ先輩!!	2
会長挨拶、母校の近況	5
合格だ！優勝だ！	6
各支部総会報告	8
卒業50周年を祝う	10
後輩からの一言	11
お知らせ、トピックス	12
黄城会総会を終えて	14
役員一覧、物故者、寄付金・寄贈	15
事務局通信	16

発行▶平成25年7月1日

発行所▶黄城会

発行人▶岩松 要輔

印刷▶(株)音成印刷

特集 **ようこそ先輩!!**

夢に向かつて

創造と挑戦



中村 壽孝 氏
株式会社ジムコ 社長

小城高校黄城会会報「黄城」(通巻43号)の巻頭特集「ようこそ先輩!!」は、本年5月小城高校で在校生を対象に講演をされた高校20回卒(昭和43年卒)中村壽孝(なかむら・としたか)株式会社ジムコ代表取締役社長のお話を特集しました。題して「夢に向かつて創造と挑戦」、人生の一端を在校生に諭すように話されました。

<初めに>

はじめに第20回卒業生の同級生に本日の講演会を企画いただき感謝申し上げます。本日は母校の体育館で後輩の皆さんと同級生の方々を前にお話でき光栄に感じています。

また学校には資料を事前に印刷配布していただきありがとうございます。

私は小城高校を卒業して45年の丑年生まれ今年64歳になる中村壽孝です。

私は「文書記録管理」システム研究・開発・販売の(株)ジムコの社長をやっております。

語るほどの人生ではありませんがこれまで数多くの創造と挑戦を繰り返してきました。「夢に向かって創造と挑戦」のテーマで「生きるヒント」になるお話をします。

今年の4月5日に特許庁に申請していた特許が取得できました。

私の会社が取得した特許の名称は「文書管理装置及び文書管理方法」です。

コンピューターのソフトウェアの分野で特許がとれる事は少なく珍しいことなのです。

今回も15年かけて特許申請3回目の挑戦でようやく特許をいただくことができました。

これは我社の繰り返してきた創造と挑戦の成果だと従業員一同で大変喜んでます。

特許には「特許の条件」がありクリアするのはかなりの難題です。

- 1、特許法上の発明であるか
- 2、産業として実施できるか
- 3、新しいか
- 4、容易に考え出すことはできないか
- 5、先に出願されていないか
- 6、反社会的な発明ではないか
- 7、明細書の記載はちゃんと規定どおり書いてあるか

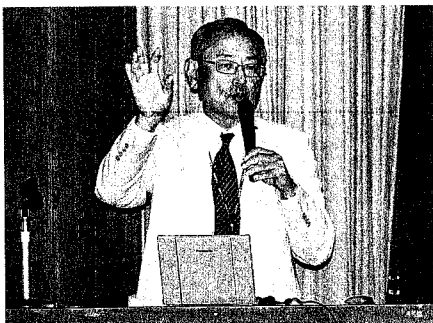
これらの項目をクリアした時に初めて特許を付与していただくことができます。

<創造と挑戦は繰り返される>

事務コンサルティングという目標をもって「ジムコ」という社名をつけました。

私の会社は一つの成功例だけで大きくなった会社ではありません。小さい挑戦をずっと繰り返しながら少しずつ成長してきた会社です。

成長曲線の人生グラフ(スライド)で皆さんは第1期の時期にいらっしゃいます。



私は今、ちょうど5期の挑戦が始まった時期にいます。

私の人生の成長曲線の人生グラフは5回も変わっています。人生は決してひとつの成長曲線だけではありません。

皆さんたちは小学校、中学校の時には現在とは別の夢をもっていたと思います。皆さんは栄養士や看護師や弁護士や医者や経営者等の様々な夢を持っているでしょう。人生の夢への挑戦を1期、2期、3期と繰り返すことで最終的に大きな夢が達成できます。創造と挑戦を繰り返す成長曲線は一つではないことを言いたいのです。私はそういう人生を歩んできました。

私の友人には、実年齢より年をとった友人もいるしあまり年をとらない人間もいます。

年をとらない人には共通の特徴があります。夢を追い続け夢をきちんと持っている人はあんまり年をとらないのです。

そういう意味では私も死ぬまで新しい夢を持ち続けたいと思っています。

<私の世代の時代背景>

第20回卒業生の世代は、映画の「ALWAYS 三丁目の夕日」の世代です。

戦後生まれのベビーブームの世代で「もったいない」をしっかり教え込まれました。

10代は「もったいない」時代でした。

20代は「経済成長」の時代でした。

30代は「バブル」の時代でした。

40代は「バブル崩壊」の時代でした。

50代は「空白」の時代でした。

60代は「リタイア」の時代です。

私は会社を経営しており夢を持ち続けリタイアはもう少し先のことだと思っています。

私たちは「戦争を知らない子どもたち」です。親が戦争で苦労したことを全く知りませんでした。

小学校のころ裸足や下駄で行ってもおかしくなかった時代だったことを覚えています。

小城高校は11クラスあって1クラスに多分50人くらいいましたから大人数でした。楽しい思い出も多く、いまでも同窓会の時には、忘れていた思い出話に花が咲いています。

大学の進路についていつかは会社を経営していきたい夢を相談しました。その時の親からの「東京に出て全国に多くの友達を作ってこい」の言葉が嬉しかった。そこであこがれの東京の日本大学商学部経営学科に進学しました。

<大学時代>

東京に行つてすぐの時は、強い劣等感に悩まされました。他人がよく見え、自分のみすばらしく感じていました。

皆さん達はテレビできちんと標準語をしゃべれる世代でしょうけれど、まだ20回卒業生の世代はテレビの影響を受けていませんので佐賀弁に悩みました。標準語の友

達がとってもかっこよく見えて田舎者の自分を卑下してしまいました。

大学入学後4か月くらいですか、教養学部にはたら学校が封鎖になりました。大学紛争に突入してしまいました。約1年は大学に入ることができませんでした。

その間はアルバイトとギターでトレーニング不足の大学生活を過ごしてしまいました。

大学紛争の時には流行のマルクス・レーニン主義とか人生論とかを語りあいました。残念ながら、そういうものに対してトレーニング不足だったので、そういう議論に加わることが出来ませんでした。トレーニングしないと議論もできないということです。

大学再開から卒業するまでは可もなく不可もなく甘ちゃんの人生を送ってしまいました。特に何になりたいという目標とか目的意識もありませんでした。トレーニングしなかったその甘さがもとで、社会人になってすぐに人生上の岐路に立たされてしまいました。

<落ちこぼれの社会人スタート>

社会人として、外資系の会社に営業職として就職しました。

何で外資系の会社に勤務したかと言いますと、かっこいい会社で給料が高かったからです。1972年当時に完全週休2日であつ給料も高いことが理由でした。会社入ったら車を買って、憧れていた都会生活をスタートしたつもりだったのです。

情けないことに入社3か月ではやくも入院してしまいました。入社後の勝手な理想と厳しい現実のギャップの大きさに身体が悲鳴をあげたのです。

体育会系の会社の中で、甘ちゃんだった私はかなり厳しい地獄の苦しみを体験しました。はっきりと会社辞めろと上司からも言われ同僚からも先輩からも「お前は向いてないからもうダメだよ」、「お前みたいな甘ちゃんは早く田舎に帰れ」というように駄目出しをされ、厳しく叱られ泣かされました。

4月・5月・6月の3か月現場営業を行い7月・8月に十二指腸潰瘍で入院しました。

入院中に会社を辞めようか再チャレンジしようか思い悩みました。そして、自分の人生をかけた最大の創造と挑戦として再起を決意しました。

9月より職場に復帰後、それこそ死にもぐるいで働きました。本当に必死でした。

その年の12月18日に営業として当時の最新コンピュータの初注文書をいただきました。事務所に戻ったら所長・同僚・先輩方の「心配させやがって!」との殴る・蹴る等の手荒い祝福を今でも覚えています。社会人として職場の仲間に入れたことが嬉しくて男泣きをしてしまいました。

<生きるトレーニングの大切さ>

私は社会人になる為の生きるトレーニングがかなり足りなかったと感じています。その不足トレーニングを9か月間集中的に行ってようやく臨界点に達したと思います。

翌年からの成績は今までの営業不振がウソのようでした。苦しいことを乗り越えた後には、4年連続日本一の営業成績の表彰をいただきました。私はこの次期によりやく社会人としてのスタートが切れたのかなと感じています。

その後東京・岐阜・大阪の転勤を経験しても自信を持って営業活動ができました。

人生は必死に挑戦すれば道は拓けるし谷もあるけども山もあると実感しています。この時の体験が私を支えてくれています。

このあと、語りつくせない様々なドラマがあり佐賀にUターンすることになりました。

<ジムコの誕生>

私は帰ってきてから親族会社の西村鉄工所に勤務しました。この鉄工所の「鉄」という字は金を失うと書きます。金を失うと書くくらいだから儲からんから何か新しいことをやれと言われてました。

そこで鉄工所でマイコン事業部を1980年に創設し、この年に結婚をいたしました。

佐賀県初のマイコンショップを佐賀市にオープンし1985年に株式会社ジムコとして事業部から独立し新会社を創造しました。

1981年からマイコンブームに乗ったビジネスをやってきました。しかしブームに乗るのは良いのですがブームが去った後は無惨なものです。ビジネスを通してマイコンブームのむなしさを強く感じました。

私には「流行に左右されないテーマをビジネス化したい」という強い思いがありました。そのような中、米国へ先進地視察に行き「文書管理」というテーマを見つけました。

帰国後、佐賀県地域産業支援センターの中に入居して「文書管理」の研究開発を始めました。そして死に物狂いで「文書管理の何が夢に値するのか」を今も研究を継続しています。入居理由は今日のスピードに近いインターネット回線を利用できるからでした。

十何年も前に今日のスピードを体験しながら研究開発を行うことができました。人よりも早く体験をすることによって新しい時代の、新しい文書管理ビジネスの目的と必要性和解決案を研究開発することができました。

<留学のすすめ>

私は、米国視察や産業技術支援センターという新しい経験で未来を切り開きました。皆さん方も怖がらないでどんどん海外に出て留学してもいいと思っています。私の経験上、後輩の皆さんたちには留学をお

すすめたいと思います。

<2003年4月7日>

私たちベビーブーム時代のみんなの憧れは鉄腕アトムでした。2003年4月7日は鉄腕アトムが誕生した日です。

不思議なことに日本の様々な法律であるとか、社会の仕組みであるとか、そういうものが2003年という、この鉄腕アトムの日付に焦点を合わせて成立しています。この日は世の中がずいぶん大きく変わるきっかけになった日です。

私たちの世代が「鉄腕アトムの日の目標を共通して持っていたのだな」と思っています。

私が覚えてきた人生で役立つテクニックをいくつかお教えしたいと思います。これは生きるためのテクニックと考えてください。

<顔の見方>

皆さんは人の顔の見方があることをごぞんじですか？

「力強い視線」のテクニック

一生懸命、私はあなたが好きですという言葉を送りたい時、どこを見るのでしょうか。

答えは片方の目のどちらかの瞳を一生懸命に両目で見てください。

それが強い視線、相手に対して強いメッセージを与えるというテクニックです。

「柔らかな視線」のテクニック

始めて会った人とか、ニコニコと相手とお話をする時に、好印象を与えるためには相手の顔のどこを見るのでしょうか。答えは鼻の頭を見るのです。

相手の顔を見る時は、「相手の顔を見るルール」があることを覚えておいてください。意識しないで何気に相手の顔を見る人は生き方を知らない「もったいない」人です。

次に押しの強い話し方というのがあります。私は営業ですから「押しの強い話し方」は重要なのです。

押しの強い話し方とは非常に簡単です。答えは肯定形で話すことです。決して否定形で話しをしてはいけません。

好きな相手とデートの約束を相手に話をする時に「今度の日曜、あんたいそがしかりょうね」という聞き方は否定形で聞いています。

「今度の日曜、小城公園でデートしよう」という風に言うのが肯定形です。当たり前のごとです。

皆さんたちは何気に言葉を使ってらっしゃるでしょうけれども、肯定形で自分が本当に相手に伝えたい言葉をきちんと普通の表現で話をするということを、忘れがちです。ついつい否定形でねじ曲げて言ってしまうことがあります。

ねじ曲げた言い方をやめて「あなたが好きです」と素直に言えばいいのです。否定形でついつい話してしまう時、自分の心が

すごく恥ずかしがっています。

その恥ずかしい気持ちを押さえて、素直に相手とお話をするよう意識してください。何気ないテクニックですが、ぜひ覚えていただきたいと思います。

<同意した時の反応>

皆さん方を見ていますと、「力強い視線」、「柔らかな視線」、「押しの強い話し方」、この3つを話したら、同意した時の反応がここから見ると確認できます。反応の1つは「そうですね」と頷く方もいらっしゃいますがそれだけではありません。

私は営業としてお客さんと間近でいろいろとお話することがあります。そういう時に自分が肯定形で「こうしてください、ああしてください」と話した時の相手の反応が必ずあります。同意したことを表す反応は何でしょうか。

答えは「大きな深呼吸」をするのです。皆さんたちが何かをやりようとした時、お父さんお母さん後輩とかとお話して自分の思いを一生懸命話して相手が同意してくれた時には「大きな深呼吸」のボディランゲージで伝えてくれます。

ちなみに私たちの営業の仕事は相手に深呼吸をさせるという仕事でもあります。

<逆転の発想で壁を超える>

何かしらの壁におつかったときに解決する思考法を教えます。

この絵をご覧いただきたいと思うのですが、日本地図がひっくり返してあります。これは、考え方をひっくり返して考える、逆転の発想ということに絵にしたものなのです。いつもは北海道の場所にあるものが九州になります。これでよく見て頂きますと、東京を中心にした形でぐるりとひっくり返しをやりますと、どうでしょう。佐賀県というのは、網走辺りかなと見えているのかなと思います。

物の見方を変えるということは見え方が違うようなことなのです。これは問題を解決していく時は「思い込みで」進めてはいけないということです。

これは私たちの会社の夢づくりでも同じことです。1980年代からずっとあるテーマをやってきました。

当時は「軽薄短小」という言葉が随分ずっと使われていました。「軽薄短小」の反対



は「重厚長大」です。私は逆転の発想で「重厚長大」を選びました。それに基づいて考え方を改めて商品を開発していきました。「そんなことは聞いたことない」という、非常識を常識に変える発想が大事です。

<トレーニングはバランス良く>

体験上、皆さんに言いたいのはトレーニングが重要であるということです。人間には3つ筋肉があり3つの筋肉を鍛えるということが重要です。

まずは頭の筋肉と、身体の筋肉と、心の筋肉のトレーニングをしっかりとやってください。知力・体力・精神力！この3つをバランスよくトレーニングしてください。

知力ですけども、皆さん方は国語、算数、理科、社会等の教科を勉強されていると思います。教科には1つずつ意味があります。その意味を忘れてトレーニングを放棄することは許されなことです。私も勉強は嫌いですけども生きるためにトレーニングはやらざるを得ないのです。

知力は理解力、思考力、発見力、論理力で構成されますこの4つは我が社の採用テストの基準です。

- ①その人の理解力はどの程度あるのか
 - ②思考力はどうか
 - ③発見力はどうか
 - ④論理力はどうか
- 以上のバランスを評価します。

頭でっかちになっても体力がないと困ります。精神力、気力も重要です。

他には唯我独尊にならないで、協調力を保つことも重要であります。

大切な評価のポイントはそれぞれの特性のバランスをしっかりと見させていただきます。

<国語力と英会話>

英会話はできなくちゃいけないということは時代ですからなんとなくわかるでしょう。

僕は石川遼君のように英会話はできるようにならないといけないと思います。でも話す内容が明確にならないと、相手と何を話していいかわからないですね。

英会話とか英語を勉強するにあたって、基本になるのは国語です。国語がしっかり身に付いていないとこれまた困ります。

我が社の話ですが自分たちのビジネスの上でお客さんとのトラブルが色々あります。トラブルの報告をする時に何回聞いても何を言っているのかよく分からない時があります。つまり、何がどうなっているのが表現できないのです。表現する国語力がない人は使い物になりません。

私は六十何年の人生で「問題が解決するテクニク」を見つけることができました。皆さんたちも、これから色々な問題を解決しなくてはいけない立場になると思います。皆さん方が良い解決案を得るためには何をやらなくちゃいけないのでしょうか。

答えは「良い質問をする」ことです。

「良い質問をする」と「良い回答が得られます」。悪い質問をすると悪い回答しか得ることができません。だから良い質問をする。スポーツをする人も学問をする方もぜひやっていただきたいと思います。国語力を磨くというのは「良い質問をする」ことです。

<地球規模で活躍する時代>

みなさんたちの時代は「地球規模で活躍する時代」です。

こんな体験談があります。14～5年前、アメリカの方に視察に行った時に一緒にいった商社の方が視察を終えて、夕方ホテルのロビーでちょっとお酒を一緒に飲みながらしきりに電話をしていました。現地時間の夕方5時くらいです。

目の前で3か所に電話しました。早くこいと言っているわけです。アメリカのアナハイムという、ロサンゼルスからちょっといったところ。そのホテルから電話しているわけです。一人はヨーロッパ、一人はアメリカの東海岸のニューヨーク、最後の一人は日本の日本橋というところにいる人に電話をしました。そしてその24時間後、私はそのホテルのロビーで、その3人の人と一緒にそこでお酒を飲んでいました。夕方5時に電話をして翌日の5時にはアメリカのホテルのバーカウンターで一緒にお酒を飲んでいたので。驚きでした。

「あなたたちはすぐ隣町に行くような感覚で外国によく来たね」と言った時に、「いや外国では国内みたいに飛行機代は高いですから、安いチケットを手に入れて、もう自由に世界レベルで自由に行き来していますよ……」。

前日の夕方に「早く来いよ」と言って翌日の夕方には一緒の場所で話をしている。その話が終わったら今度はアフリカに行くようなことを商社マンは話していました。東京から羽田に飛ぶくらいの料金で日本からアメリカに飛ぶことができる時代です。

そういう手続きも全部、英語ですることになります。そういう活躍を皆さんに求める時代に確実に突入していると思います。

改めて、皆さん、国語力と英会話は磨いてもらいたいと思います。

<飛行機人間になってください>

最後のメッセージです。後輩のみなさん「飛行機人間になってください」

この言葉は「グライダー人間と飛行機人間」を比較しています。

皆さんたちの高校の授業では、論文を書く機会はカリキュラム上少ないと思います。小学校の時にはお父さん・お母さんについて書きなさいとかいう論文の課題があったと思いますが、全般的に論文のトレーニングがかなり少ないと思います。

会社の中では様々に問題解決していかなくてはいけないことがあります。学校で習っていませんというのは通じませんので論文をトレーニングしてください。課題に対しての論文力を磨きしっかり解決できる知力をトレーニングしてください。問題解決力がないとその人に、仕事が頼めないのです。

あの人に頼んでも全くできないよね、ということが会社では結構あります。高校の勉強がすべてだとは思わないでください。良い子というのは言われたことだけを守るだけの面白みのない人間です。グライダー人間とか、マニュアル人間という言い方をします。

グライダー人間のままでは実社会で活躍できません。

皆さん方は習わなくても時刻表やスマホの使い方教えてくれなくても使えますよね。自分で興味を持つことに対してはしっかりトレーニングしていますね。

それが飛行機人間なのです。

飛行機人間になって、自分で考え、自分で行動がおこせるエンジンを持った人になって自分の力で自由な大空を飛んでいたかと思っています。

<おわりに>

本日の講演をお聞きいただいた後輩の皆さん。私から見ると男子学生の皆さんはジャニーズ、女子生徒の皆さんはAKBに見えます。若いとはうらやましい！これからも夢に向かって創造と挑戦をぜひ実行してください。

私は新しい目標を作りました。2014年、ベトナムに新会社を作り地球規模で外国に出たいという目標の準備中です。ひとつのことをやり続けていくのもいいのですが、常に新しい夢を持って創造し挑戦していき、どんどん自分を成長させていくことも1つの生き方かなと思っています。

私の話が皆さんの生き方に少しは、お役に立てる部分があればうれしく思います。

講演を聞いていただいた後輩や20回卒業生の皆さん。本日はありがとうございました。

(おことわり) この原稿は講演会の録音を元に加筆修正したものです。

Profile

としたか
中村 壽孝 (64歳)

小城高等学校 昭和42年度卒業

(高校20回卒)

牛津町出身 日本大学経営学科卒業
株式会社ジムコ 社長



黄城の故郷から

黄城会会長
岩松 要輔

平成25年度を迎え、全国各地の会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のことと拝察いたします。小城公園は満山の桜から、樟の若葉とツツジの花にすっかり塗り替えられています。

常日頃、黄城会の活動にはご支援ご協力をいただき、感謝いたしております。昨年度は総会のあと、会報の発行、一般財団法人黄城教育会館への切り替え、ホームページの刷新などに取り組んで参りました。ご招待を受けた支部総会へは内野前小城高校長と出席させていただき、各支部の活動の様子を見聞させてもらいました。

今年度の黄城会総会は、恒例の5月

3日に母校の体育館において、「黄城との縁に感謝 これまでのそしてこれからの」をスローガンに、東島 朗実行委員長を中心として新高40回卒業の皆様のご尽力で感動的で素晴らしい会合となりました。総会行事のあと第二部の黄城の集いで、高校15回卒業の皆さんの卒業50周年祝賀が行われましたが、ご同慶にたえません。第三部のアトラクションでは、「小城高校吹奏楽・合唱部」のミニコンサート、「トミー富岡の爆笑ものまね&トークショー」が行われ、楽しい時間となりました。恒例の饅頭会は来年度の担当回期新高41回の皆さんの接待があり大変盛況でした。

さて、母校小城高等学校においては、昭和36年からながらく親しんで参りま

した4階建ての白亜の教室棟が、今年9月から解体されることとなり、3階建ての新校舎が建設されることになりました。新高13回より以前の同窓生は旧制小城中学校と小城高等女学校の木造校舎が学び舎でしたので、都合2回校舎が建て替わることとなります。小城高校の敷地は、藩政時代小城鍋島家の藩邸があった場所であり、南の小城公園はその庭園であり、教育施設を設置するには、すばらしい環境にあります。小城高校の益々の発展を望みます。

最後になりましたが、黄城会の発展と同窓諸兄姉のご健勝を祈念申し上げ、会報のあいさつといたします。

(平成25年5月16日)



母校の近況

校長
坂本 武敏

平成25年度を迎え、黄城会会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。皆様には常日頃から小城高等学校の教育発展のためにご支援、ご協力を賜り心からお礼申し上げます。

私は、前校長内野安成先生の後任として平成25年4月から校長を拝命しました。創立115年目を迎えた歴史と伝統を誇る本校に勤務できますことは大きな喜びであると同時に、責任の大きさに身の引き締まる思いです。微力ではありますが全職員一丸となって、代々の校長先生はじめ諸先生方が残された業績を継承し、さらに本校の新たな発展に寄与できることを願っております。

本校の現状についてご報告させていただきます。

まず平成25年度大学入試結果等についてご報告いたします。合格者数については現浪合わせた数です。国公立大学合格者数65名(含む九州大学、佐賀大医学部医学科)、私立大学合格者数

243名(含む明治大学、東京女子大学、東海大学、同志社大学、西南学院大学)、短期大学11名、看護学校・専門学校50名、その他の大学3名(含む防衛大学校)、就職3名(含む自衛隊、県警)でした。生徒たちの最後まででの努力の結果、以上のような合格者を出すことができました。

次に、部活動について報告します。運動部、文化部ともにすばらしい活躍でした。

運動部では、運動部指定校枠をいただいている女子柔道部が、高校総体での優勝(6連覇中)、個人戦でも多くの優勝者も輩出しています。全国柔道選手権では、ベスト16入りを果たしました。男子柔道部も高校総体での3位、個人戦でも躍進を続けています。また、バドミントン部が高校総体で男・女団体3位、男子シングルス福島3位、男子ダブルス福島・山口ペアの3位入賞を果たしました。他にも、多くの運動部がベスト4以上に残る力をつけています。

文化部では、書道部が全日本高校書道コンクールで部門最高賞に光石夏澄

さんが入賞、準部門最高賞に12人が輝き、団体賞優秀校の第4位に輝きました。また、吹奏楽・合唱部が富山県で開催された全国総合文化祭に出場しました。さらに、書道部・放送部からも全国総文祭に出場しています。

こうした成果だけでなく、本校では、早朝に生徒会・柔道部・野球部を中心に学校周辺の清掃活動を行っています。また、吹奏楽・合唱部による施設訪問、図書部の読み聞かせ活動等が盛んになってきました。天山登山でも、自分で家から火はさみを持参して登山道のゴミ拾いをする諸君もいます。社会貢献を実践する心と行動に深く感謝します。

「文武一途を旗印に、オンリーワンを社会貢献のできる優れた人材へと育てむ」というスローガンが実現できる教育環境に恵まれ、支援いただく保護者・同窓会・地域の皆様のご理解、本校教育に献身的に尽力いただく先生方、そして何より素直で真面目な生徒諸君に感謝しながら、微力を尽くし、さらなる前進を目指します。どうぞお立ち寄りいただき、御叱正・御指導ください。

合格だ!優勝だ!

平成24年度
学業報告・部活動の成績

平成24年度合格状況

【国立大学】 島根大学1 / 広島大学1 / 山口大学3 / 愛媛大学1 / 高知大学1 / 九州大学1 / 佐賀大学34 / 長崎大学8 / 熊本大学5 / 大分大学1 / 琉球大学1

【公立大学】 新見公立大学1 / 下関市立大学1 / 福岡県立大学3 / 福岡女子大学1 / 長崎県立大学1 / 宮崎公立大学1

【私立大学】 日本大学1 / 東京女子大学1 / 駒澤大学5 / 関東学院大学1 / 國學院大學1 / 国際医療福祉大学6 / 昭和女子大学1 / 東海大学3 / 清泉女子大学1 / 創価大学2 / 明治大学2 / 同志社大学3 / 京都橘大学1 / 京都産業大学2 / 奈良大学3 / 近畿大学5 / 関西大学1 / 龍谷大学1 / 広島国際大学1 / 岡山理科大学3 / 九州産業大学12 / 久留米大学19 / 西南学院大学8 / 中村学園大学15 / 福岡大学43 / 福岡工業大学28 / 福岡女学院大学7 / 筑紫女学園大学10 / 九州女子大学1 / 九州看護福祉大学4 / 西九州大学17 / 長崎国際大学1 / 立命館アジア太平洋大学1 / その他の大学33

【短期大学】 国公立短期大学1 / 私立短期大学10

【その他】 文科省外大学3 / 高等看護学校14 / 医療系専門学校14 / その他専門学校22 / 就職3

平成24年度部活動の成績

【運動部】

1. 柔道部

○第50回佐賀県高等学校総合体育大会 / 女子団体 優勝 / 男子団体 第3位 / 100kg級 第1位 宮崎雅也 / 63kg級 第1位 篠原千穂 / 70kg級 第1位 永田睦 / 78kg超級 第1位 辻村梨那 / 78kg級 第1位 中村菜那美
○平成24年度全九州高等学校体育大会 / 78kg超級 第3位 辻村梨那 / 70kg級 第3位 永田睦



柔道部

○平成24年度佐賀県高等学校新人体育大会柔道競技大会 / 90kg級 第1位 古賀俊介 / 78kg超級 第1位 辻村梨那 / 57kg級 第1位 酒井なつみ / 63kg級 第1位 西谷史佳 / 女子団体 第1位

○第16回九州高等学校新人柔道大会 / 78kg超級 第3位 辻村梨那

○第35回全国高等学校柔道選手権佐賀大会 / 女子団体 第1位 / 女子無差別級 第1位 辻村梨那 / 女子63kg級 第1位 西谷史佳 / 男子団体 第3位 / スポーツ優秀賞 土井康孝 / 模範競技者賞 篠原千穂

2. 弓道部

○第4回孔子の里弓道大会 / 第2位 山下義貴

○平成24年度佐賀県高校弓道大会高取杯 / 第2位 富増紘希

3. バドミントン部

○第24回佐賀県高等学校生徒バドミントン競技春季大会 / 第3位 福島将・山口健太

○第50回佐賀県高等学校総合体育大会 / 女子団体 第3位 / 男子団体 第3位 / 男子ダブルス 第3位 福島将・山口健太 / 男子シングルス 第3位 福島将

○平成24年度佐賀県高等学校新人大会バドミントン競技 / 男子ダブルス 第3位 福島将・嘉村侑哉 / 男子シングルス 第3位 喜多勇介 / 男子シングルス 第2位 福島将

○平成24年度佐賀県高等学校新人大会バドミントン競技 / 男子団体 第

1位

4. テニス部

○第40回佐賀県高等学校学年別テニス大会 / 1年男子シングル 第3位 下古場稜一

○第2回佐賀県高校テニス1年生大会 / 男子団体 第3位 野添一仁・下古場稜一・藤瀬柊斗・嶺川宙貴

5. ソフトテニス部

○平成24年度佐城地区高等学校ソフトテニス秋季大会 / 男子団体 第3位 / 男子個人 第3位 北島武・三戸谷光輝

○佐賀県ソフトテニス全国高等学校選抜2次予選会 / 男子団体 第3位

6. 陸上競技

○平成24年度佐賀県高等学校新人体育大会陸上競技大会 / 女子砲丸投 第3位 江口敦子

○ジュニア秋季陸上競技記録会 / 女子砲丸投 第3位 江口敦子

○第17回佐賀県高校陸上競技選手権大会 / 女子砲丸投 第2位 江口敦子

○佐賀県高等学校体育大会駅伝競技 / 女子 躍進賞 / 男子 躍進賞

○平成25年多久市成人祝賀ロードレース大会 / 一般女子の部 第3位 廣瀬咲紀

7. 女子バスケット部

○第3回鳥原市協会長杯バスケットボール大会 / 第3位

8. 剣道部

○第63回佐賀県東部地区高等学校剣道大会 / 男子団体 第3位

【文化部】

1. 書道部

- 第20回佐賀県書道展／優秀賞 高井里佳・池上綾佳・坂井絵梨佳
○第37回佐賀県書道家協会展／県書道家協会賞 永田唯華／特選 江頭果奈・上野明音
○中林梧竹翁顕彰席書大会／小城市長賞 光石夏澄／梧竹記念館賞 高井里佳／特選 大久保夏輝
○第69回佐賀県高等学校席書大会／特選 江頭果奈・光石夏澄・高井里佳・永田唯華・上野明音・阿部佳央梨
○第40回県書道教育連盟主催「七夕書道展」／梧竹顕彰会賞 武富佑香／J A 共済佐賀賞 大崎美和／特選 馬場捺未
○第11回岐阜女子大学全国書道展／準大賞 高井里佳／奨励賞 光石夏澄・上野明音／特選 江頭果奈
○第24回佐賀県高等学校総合文化祭書道展／特選 馬場捺未・大久保夏輝・田中七海
○第7回尚綱大学高校生書道展／花桜会大学部会賞 光石夏澄・田中七海
○第35回中林梧竹翁顕彰書道展／梧竹大賞 池上綾佳／J A さが賞 嶺川真由／小城天山ライオンズクラブ賞 大久保夏輝／特選 江頭果奈・江副日向子
○第37回佐賀県高等学校臨書展／特選 光石夏澄・高井里佳・永田唯華・上野明音・馬場捺未・田中七海・納富由季・相島加奈美・中原明香里・江頭日向子
○第18回全日本高等学校書道コンクール／部門最高賞 高井里佳／準部門最高賞 光石夏澄・卯野木杏



書道部

- 奈・永田唯華・池上綾佳・上野明音・富永冴保・嶺川真由
○第58回佐賀県書道教育連盟主催大空書初書道展／知事賞 嶺川真由／特選 卯野木杏奈・上野明音／特選 馬場捺未・田中七海
○第34回読売学生書展／佐賀市教育委員会賞 光石夏澄／秀逸 馬場捺未／秀逸 藤原朱里
○第14回高田保馬博士顕彰書道展／金賞 中原明香里／銀賞 大久保夏輝／銀賞 馬場捺未
○第18回全日本高等学校書道コンクール／全国優秀校（第4位）／準部門最高賞 大久保夏輝・馬場捺未・坂井絵梨佳・相島加奈美・江副日向子
2. 美術部
○第65回佐賀県高等学校スケッチ大会／奨励賞 武藤彩乃・上山葉子・金子万吏・毛利駿之介・上山尚子
○第50回佐賀県高等学校総合体育大会50周年記念プロジェクト大会／ポスター部門 優秀賞 北島紗希
○第24回佐賀県高等学校総合文化祭美術・工芸部門／デザインの部 特選 佐々木俊輔／準特選 長谷仁嗣／入選 森永大翔・福田留華／絵画の部 準特選 金子万吏・上山葉子

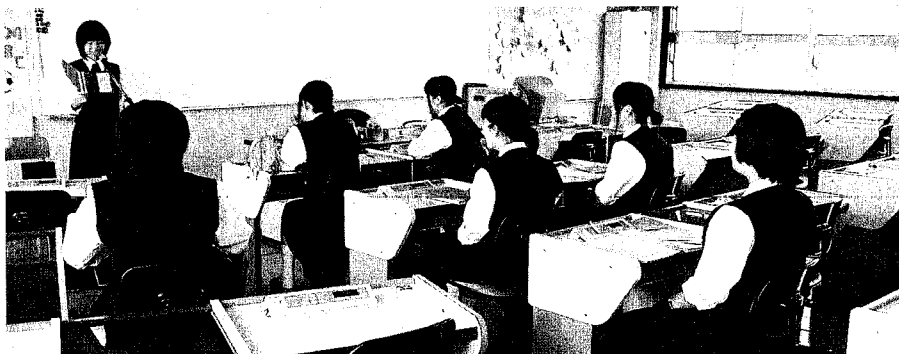
- ／佳作 山下真歩／入選 武藤彩乃・中村智子
○第36回九州青年美術公募展／審査員奨励賞 山下真歩／奨励賞 上山葉子／大牟田市長賞 金子万吏
○平成25年度全国高等学校総合体育大会 佐賀県開催競技種目別大会ポスター原画の作品募集／剣道 最優秀賞 上山葉子
○第56回西日本読書感想画コンクール／特選 上山葉子・山田蘭・山下真歩・金子万吏
○第51回佐賀県高等学校デッサンコンクール／準特選 上山尚子

3. 放送部

- 第59回NHK杯全国高校放送コンテスト佐賀大会／アナウンス部門 奨励賞 陣内絵理／アナウンス部門 奨励賞 納富まなみ／朗読部門 奨励賞 牧口千音美
○第36回佐賀県高校放送コンテスト／アナウンス部門 優秀賞 納富まなみ／アナウンス部門 優良賞 陣内絵理／朗読部門 優秀賞 牧口千音美

4. 吹奏楽・合唱部

- 第51回九州合唱コンクール佐賀県予選／金賞
○第53回佐賀県吹奏楽大会／銀賞
○第36回全国高等学校総合文化祭／吹奏楽の部 文化連盟賞 川路梨紗／合唱の部 文化連盟賞
○第67回九州合唱コンクール／銅賞
○第24回佐賀県高等学校総合文化祭連合音楽会／奨励賞
○第38回佐賀県吹奏楽アンサンブルコンテスト／木管3重奏 銅賞
○第18回佐賀県ヴォーカルアンサンブルフェスティバル／奨励賞



放送部

支部総会報告

2012年度

関東支部

10月20日 銀座アスター お茶の水賓館 100名

総会は、開会宣言のあと、物故者への黙禱で始まり、吉村支部長（高6）の開会挨拶、榎崎幹事長（高14）の会計・支部活動報告、江里口会計監事（高7）の監査報告が行われました。諸報告は異議なく承認されました。このあと吉村支部長より「この総会をもって退任したいが、後任に山崎禎昭さん（高9）を推薦したい」との発言があり、支部長交代も異議なく承認されました。山崎次期支部長からは「吉村支部長が始められた『散歩会』を発展させ、支部活動への若い会員の積極的参加を促したい」との挨拶がありました。

議事が終了したあと、来賓の方々の挨拶がありました。まず、内野校長（高23）から小城高校の近況報告があり、特に、昭和37年建築の校舎を地震対策のために取り壊すという話がありました。ついで、岩松会長（高10）と久本中京支部長（高11）から挨拶があり、久本支部長からは、北陸まで出かけて高校総体を応援したときの苦労話などが披露されました。

最後に、本野克彦さん（高3）から、故村岡平蔵画伯（旧中26）の作品を数多く黄城会に寄贈して下さったご遺族の紹介があり、岩松会長からご遺族に感謝状が贈呈されました。

引き続き、吉岡齋仁さん（高40）の司会で懇親会『黄城の集い』が始まり、石盛 要さん（旧中40）の開宴の挨拶と乾杯の音頭のあと、時の経つのも忘れて賑やかな歓談が続き、宴の途中で、2012年度本部総会実行委員を務められた中村茂樹（副委員長）、笹川宗彦、森 章人、池田邦枝の39回生各氏また、2013年度本部総会実行委員の東島 朗（委員長）、円城寺貴輝、池田聡、下村照正、高塚 誠の40回生各氏が紹介されました。

（高校9回 関東支部長 山崎 禎昭）

黄城会 関東支部



中京支部

11月11日 名鉄ニューグランドホテル 42名

本部岩松会長、小城高校内野校長、関東・関西支部代表、39回・40回実行委員多数参加

を含め総勢42名でした。

式次第に沿って支部長挨拶・活動報告・会計報告と続き来賓挨拶へ。

本部長・小城校長・米田関西支部長・県人会会長と続き一部終了。

一時休憩後 二部へ 榎崎関東支部幹事長の挨拶兼乾杯で歓談会へ。

イベント（MOBAの演奏）リーダー事務局長 堤 淳さん 時を忘れるほどヒートアップでした。

その後、実行委員の紹介挨拶でも一人一人大いに会を盛り上げて戴きました。

本部総会の会員券も予定確保いただけたと思っています。

ビンゴゲームへ進み、全員で校歌斉唱で終了。

今回は時間が過ぎるのが早く感じられました。一部削除した所もあります。短い一時の時間を楽しく盛り上げて頂いた全員の皆さんへお疲れさまで共に有難うを申し上げます。

（高校11回 中京支部長 久本 哲義）



関西支部

10月21日 ホテルプリムローズ大阪 63名

関西支部総会は10月21日、ホテルプリムローズ大阪で60名を超える方にご出席いただき、盛大に開催されました。

本部から岩松会長、内野校長、そして中京支部から久本支部長にご出席いただき、ご挨拶をいただきました。

また佐賀から39回卒・40回卒の方々のご支援をいただき、大いに盛り上がりしました。

第一部では、米田支部長の挨拶に続き、吉谷事務局長から事務局報告、古賀事務局長から支部会計報告、引き続き記念撮影となりました。

第二部の懇親会は久本中京支部長による乾杯の音頭で幕が開きました。39回卒織田祐輔さんによるミニライブが行われ、アンコールの「高校三年生」まで大変にぎわい、歌のお礼と今後のご活躍を祈念して服部副支部長から花束を贈呈しました。

また、5月3日の本部総会DVD上映、ご当地クイズ、お楽しみ抽選会なども開催されました。そしてお互いに「黄城の絆」を改めて

確認しながら、楽しいひとときを過ごしました。

（高校30回 関西支部事務局長 吉谷 弘）



関門・北九州支部

12月9日 リーガロイヤルホテル小倉 21名

昨年12月9日、リーガロイヤルホテル小倉にて開催されました。

当日は会長様、校長様、24年、25年当番幹事様にもお越し頂き盛会の中での総会でした。しかしながら総勢21名と少ない参加者でした。他支部もそうでしょうか若い回期の方の参加が年々と減少傾向です。また高齢化も進み、幹事としましても参加者を増やす取り組みを行っておりますがここ2～3年は約20名程度の参加者となっております。今後の支部運営の活性化取り組みが課題です。しかしながら少人数の中での開催という事で一人一人とじっくり話をする事ができ、密度の濃い時間を過ごせ且つ落ち着いた中での会となりました。

学校の状況、在校生の頑張っている姿を校長様からお伺いでき、小城高卒のOBとして、誇りに思いました。（高校29回 山口 孝美）



福岡支部

10月13日 福岡国際ホール 127名

2012年10月13日に2012年度創立113年黄城会福岡支部総会同窓会を西日本新聞会館16階国際ホールにて開催いたしました。

当日は清々しい秋晴れの下、福岡支部の大先輩から高校40回期卒の後輩まで福岡県内と地元佐賀より、総勢127名の皆様にご参加頂きました。

今年度は、39回期卒が当番幹事となり企画・運営・設営等を行い、アトラクションでは39回期卒の「織田祐輔歌謡ショー」や、地元佐賀のご当地クイズで盛り上がり、さらに多久市と芦刈・牛津のキャラクター「多久翁さ

ん”・“牛五郎”に登場頂き歌声・笑い声の絶えないひと時を先輩方・後輩と共有できました。

また今年度も、数多くの皆様方の総会冊子への広告掲載・運営活動賛同金へのご協力を活動資金として活用させていただきましました。

開催に至るまでは、数々の課題もありましたが武富支部長をはじめ支部役員の皆様、38期の先輩方、福岡支部や地元佐賀の39期生と40期生、そして広告、賛同金にご協力いただいた皆様、数多くのご指導・ご協力により、盛会のうち終えることができました。ご協力いただいた全ての皆様に感謝申し上げます。

私たち39期の役目は一旦終わりました。が今後は先輩から引き継いだ黄城魂を、後輩達に繋げていくことが私たちの新たな役目であると考えます。(高校39回 松隈 泰啓)



黄城会福岡支部総会

唐津支部

2月3日 虹の松原ホテル 42名

平成25年2月3日(日)虹の松原ホテルにおいて、平成24年度唐津支部総会および懇親会を42名の方の出席のもと開催しました。本部より岩松会長、母校より内野校長先生、佐賀支部、福岡支部の役員の方も来賓としてお越しいただきました。

総会では、白石支部長の支部活動の報告と完成したばかりの支部会報第二号を参加者に配布し、支部初の企画として、今年の「春雨まつり」へのツアーの開催予定が発表されました。次に来賓の皆さまより、黄城会本部や各支部の活動の紹介、最近の学校、生徒たちの近況をうかがいました。

次に懇親会では、アトラクションとして当支部の江口さんによるマジックを披露していただいたり、ビンゴゲームで楽しみました。

また、今年の総会当番の40回の方に、小城高にちなんだクイズゲームをしてもらい、難問(?)も多く、久しぶりの小城の話題で盛り上がり、楽しい時間を過ごしました。

(高校28回 唐津支部事務局長 鮎川 正博)



佐賀支部

10月28日 ホテルニューオータニ佐賀 約200名
佐賀支部総会は、iスクエアビルで、盛会

のために山田支部長を中心に話し合いをしてきた成果を存分に発揮できる場がやっときた・・・と気持ちを引き締め臨みました。

支部長が挨拶されご来賓祝辞、決算報告、監査報告と進み、尊敬する39期の香川弘行実行委員長の昨年の本総会のお礼、挨拶を終え40期を代表して本部総会のご案内をさせていただきます、清々しい時間と空間の始まりの鐘がなりました。

厳肅さを保ちながらも200名近くの黄城魂をもった先輩方と楽しく賑やかに過ごせました。

ご臨席の皆様を楽しませなければいけない立場ながら、自分達も楽しんでしまいました。

今回の佐賀支部総会の懇親会の運営に携わり、昨年まで何も知らず、こんなに素晴らしい会を諸先輩方が築きあげてこられた黄城への思い！今度は、我々が後輩達に繋げていかなければ・・・いや繋げたいと思ひ新たに感じた人生の一瞬でした。そして39期の先輩達の指導のもと、40期のみならずと少しずつ創りあげていく本部総会の運営、「40期一丸！」をかかげ頑張ってくれている皆に強く感謝！！した充実した1日でした。ありがとうございます。(高校40回 東島 朗)



多久支部

2月10日 北多久公民館 80名

年明けから2月に入っても、寒い日が続いていましたが、第25回黄城会多久支部総会の開催日は暖かい一日でした。第1部の総会には、本部役員として岩松会長、小城高校からは内野校長が公務の為欠席でしたが、岩村彰教頭、横尾多久市長も多久支部相談役としてご臨席を頂きご挨拶を賜りました。ご臨席賜りましたご来賓の皆様方にこの場をお借りいたしましてお礼申し上げます。ありがとうございました。また、今回で多久支部4代目の古賀栄子支部長が勇退され、5代目の支部長に新高15回卒の吉浦啓一郎 現副支部長が就任されることが全会一致で承認され、黄城会多久支部長を引き継がれました。古賀氏には、これまでの労をねぎらい花束が贈呈されました。平成24年度黄城会総会のお礼を39期の実行委員長が述べ、平成25年度黄城会総会の実行委員長が40期を代表し挨拶を行い、旧制中学校から現在の校歌を斉唱し、第1部は、北村副実行委員長のあいさつで終了しました。

第2部はアトラクションとして同期の演歌歌手 江頭孝康君(芸名は織田祐輔)に歌謡

ショーをしてもらい会に花を咲かせてもらいました。ご参加の皆様方に大変喜んでいただきました。

第3部の懇親会では、会場で参加者が弁当、鉢盛を囲んで御歓談されている中に、飛び入りで37期の先輩に歌を熱唱しながら会場に入って頂くなどして、会を大いに盛り上げてもらいました。(高校39回 金ヶ江 和文)

県庁支部

8月24日 グランデはがくれ 59名

黄城会県庁支部の総会は、平成24年8月24日、佐賀市の「グランデはがくれ」において、県庁支部会員48名に加え、黄城会本部の岩松会長(10回)、母校小城高校の内野校長(23回)、そして県議会からは伊東議員(32回)、藤木議員(38回)、藤崎議員(41回)ほか、来賓11名をお迎えして開催しました。

大坪支部長の挨拶、来賓祝辞に続き、山田佐賀支部長の乾杯によってスタートした懇親会では、県庁で働く仲間同士の語り、懐かしい昔話で盛り上がったようです。さらに終盤では、若手会員が中心になってステージに上がり、校歌を歌いだすという一幕もありましたが、お酒の手伝いもあって熱唱というよりは絶叫に近いものとなりました。

さて、皆さん、I L C(国際ニアコライダー)を御存知でしょうか。I L Cは、宇宙のはじまりとされる大爆発「ビッグバン」を再現し、宇宙誕生の謎を解くという研究です。この研究には、史上最大で最高エネルギーの電子・陽電子を衝突させる次世代加速器が必要です。全長約30km(将来計画は50km)を超える地下の直線トンネル内に、精密な高真空ビームパイプ(次世代加速器)を設置します。

ビームパイプの一方から電子、もう一方から陽電子ビームを入射し、ほぼ光速まで加速して、中央部で正面衝突させ、ビッグバン直後と同じ高エネルギー状態を再現します。そして、衝突の瞬間に発生する素粒子を測定・解析し、謎に包まれている宇宙の起源の解明に挑戦しようというものです。

この建設費は8,000億円ともいわれ、研究者が3,000人、家族まで含めると10,000人が移り住むとも言われています。

佐賀県は、宇宙誕生の謎が脊振で解明されること目指して取り組んでいます。皆様のご支援をお願いします。

(高校27回 県庁支部長 大坪 広幸)





高校15回
中村 萬太郎

私達、小城高校15回生は5月2日、恩師の千布正三先生、江島龍也先生そして力武俊一先生の3名の先生方のご臨席を賜り、唐津シーサイドホテルで卒業50周年記念同窓会を開き、翌日5月3日、小城高校体育館で開催される2013年度黄城会総会に参加しました。この前日より当地は晴天が続く、澄み切った空のもと、小城から眺めた天山とそれに連なる山々は、左側の西の多久方面から東の大和方面へゆったりと横たわり、顔面まじかに雄大な姿を見せてくれました。そして樹木の新緑は鮮やかでまぶしいほどでした。旧制小城中学校創立より114周年の黄城会総会を祝しているようでありました。特に故郷を離れた者にとっては感慨深い思いを湧き起こしてくれたと思います。総会が終わったら、春の薫風が運ぶ草木の香り、祇園川などから流れる疎水のせせらぎ、うるさいくらいのひばりのさえずり、たまに飛んでくるカチガラスに会いながら、まもなく麦秋となる田畑のあぜ道を散策してみようかと思いました。黄城会総会のこのホームカミングデイに晴れある壇上にあがった私達、総勢百人余は、一見では色つやも良く元気いっぱいの子供の姿のものも含め、久々の再会もあり、喜びの顔でほころびました。総会会場では、現役高校生の近況報告や高校生活や文化部あるいは運動部の部活動など映像による紹介、ブラスバンドによる演奏などたくさんのことを披露してもらい、私達も50年前にタイムスリップしたひとときでした。総会の報告では、4階建ての校舎が取り壊されるとのこと。ちょうどこの校舎が新築された初年度に、私達は卒業年度の3年生に進学しこの校舎で机をなら

べました。同じ50年余、この校舎が姿を消すことについては、残念な気持ちと、ありがたい感謝の気持ちが混じりあいます。当時、この校舎と大きな楠の樹の間には広い校庭があり、天気の良い日には、昼休みまでの途中の休み時間に昼食をすませ、昼休みのチャイムとともにこの校庭に走り出て、ソフトボールで汗を流しました。バッターが打った球を守備の誰かがノーバウンドで捕手すれば、その選手にバッター交代するというルールでした。その様子をこの校舎の手すりに寄りかかりながら、眺めるセーラー服姿の女子学生がいたりしました。この校舎に関しては、卒業後の思い出もあります。今からちょうど10年前の私達高校卒業40周年記念同窓会において、行事の1つとして、在学当時の恩師の方々による模擬授業（補習授業？）をこの校舎で実施していただいたことです。具体的には前述の千布先生と江島先生そして今は故人となられました脇山正大先生による、数学と理科そして国語の授業でした。あまり勉強しなかった私達に、幅広い生涯教育としての教養を伝授していただきました。この紙面をかりてお礼申し上げます。高校生活の思い出は、入学した1年生のとき、生徒会により学生集会在招集されました。そのときのテーマは学校側への要求であったか

どうか記憶は不確かですが、先輩上級生の発言の迫力に新入生は圧倒された記憶のみが残ります。在学中に「長髪を認めよ」との集会もありました。他に思い起こすことは、天山登山と、体育祭での三、三、七拍子の応援合戦そして手に手を取ってステップを踏んだフォークダンスです。今一つはその当時、流行した歌謡曲「高校三年生」でしょう。今でも、新年会や忘年会での最後の締めくくりは「小城高校校歌」と「高校三年生」です。校歌の作詞者林学水先生の思い出は発音に関しての話です。「偽千円札」といえば佐賀人かどうかがすぐ分るといわれました。国語の美しさは発音のきれいさからとの教えだったかと思えます。最後になりましたが、2013年度黄城会総会運営を担当された40回生の実行委員会の皆様とその推進にご尽力いただきました40回生およびその支援に活動されました41回生の皆様、当日に向けての準備および当日の活動等にご協力いただいた小城高校在校生の皆様、黄城会会長および副会長とすべての黄城会の関係者、校長先生をはじめ小城高等学校関係者、ご来賓の皆様、そして改めてご参加いただきました皆様と黄城会会員全員に感謝申し上げます。そして来年度も黄城会総会が企画新しく盛大に実施されることをお祈りいたします。ありがとうございました。



小城高校に感謝

江口 侑里（長崎大学教育学部）

私はこの3年間、勉強と部活動の両立を目標に努力してきました。その中でも最も思い出に残っているのは、昨年9月の九州合唱コンクールです。周りの友人たちが6月から受験勉強をしているのに、私は毎日くたくたになるまで練習し、勉強にまで手が回らないことが多く、とても焦っていました。しかしどちらかに集中しなければ両方とも中途半端になってしまうと思い、部活動の時間は精一杯練習に打ち込みました。その結果、コンクールでは満足のいく演奏ができ、前年度以上の成績を残すことができました。目の前のことに集中して取り組むことの大切さを学ぶことができました。

その後部活動を引退し、周りより3か月遅れて本格的に受験勉強を始めました。しかし受験までに残された時間はほかの人と同じなので、私は授業の時間に集中して、分からないこと一つひとつを潰していこうと努力しました。これは部活動で集中力が身についたおかげだと思います。また授業の中で分からなかったことは、その日のうちに先生や友人

に質問して解決し、苦手なところをなくすようにしていました。センター試験まで5か月ほどしかなく、不安でいっぱいでしたが、周囲の人に支えられ第一志望であった長崎大学に合格することができました。

勉強と部活動を両立することはとても大変でしたが、それを乗り越えることで私は大きく成長することができました。これも先生方のご指導や友人の支えがあったからだと思います。小城高校への感謝の気持ちを忘れず、社会に貢献できる人間になって恩返しができるようにこれからも努力し続けたいと思います。



3年間を振り返って

堤 優太（熊本大学理学部）

私は前期入試で熊本大学理学部に合格しました。

この合格は先生方や親の支え、一緒に辛い日々を頑張ることができた仲間のおかげだと思います。

私は小城高校での3年間、勉強と部活動、さらに生徒会活動の両立を目指し、努力を続けました。勉強面では、ほぼ毎日塾に通い、課題や授業の予習復習をしました。部活動面では、ソフトテニス部に所属し、3年次は副キャプテンを務めました。大会ではあまり良い結果は残せなかったのですが、部活動を通して、仲間と協力することや、人の上に立

つことの大変さ、礼儀などを学びました。そして、2年生の時に後期生徒会役員となり、毎朝挨拶運動や掃除を行いました。朝早く起きるのは辛かったですが、掃除をしてきれいになったのを見たり挨拶したりするのはとても気持ちよかったです。

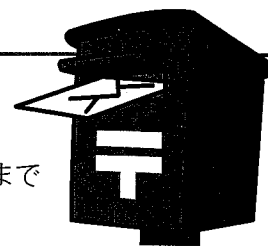


私は2年生の頃から熊本大学に進学したいと思っており、希望の大学に合格できたことを本当に幸せだと思っています。大学に入ってから黄城会の一員であるということを実感して、これまで以上に努力していきたいと思っています。

お知らせ

トピックス

掲載希望の方は事務局まで
2014年4月締切



会報をお送り下さったことのお礼です。

高女8回 任田 静子

拝啓 季節の方も9月に入り、ここ数日夏の終わりかのような涼風になってきました。九州の方はいかがでしょうか。いつも毎年会報黄城をはるばる小城市(佐賀県)からお送りくださりまことにありがとうございます。コンパクト新聞版になり3作目になりました。いつも読むたびに小城高校の今はすごく元気でいいな。こっちも負けてられないぞ、無事に今年の暑い夏をのりきることができたし、さあ冬を元気に今度は過ぎ、のりきるぞと思っています。今は誰も小城市や多久には老齢で他界

してしまい、九州とは縁遠くなりかけてもこうして「黄城」が年1回届くと本当にてれくさくなりますが、本当はふる里のぬくもり、やさしさを手に感じるので内心ほっとし、気持ち安心します。今年(平成23年)は7/8(金)に届きました。すぐにお礼の手紙をそちらに書こうと頭に思っていたのですが筆無精で9月になってしまいましたすみませんでした。私はすごく佐賀県の小城市や多久のあたりが好きで、長崎本線から唐津線に分岐するあたりの広々とした風景を見るとどこか遠くへ急に旅したくな

ります。今は住居は石川県小松市でもやはり長崎や福岡(博多)の間に位置する佐賀県の多久や小城市はどちらの様子も手軽にわかるのですごいですが、でも、住まいもこちらにあるので、こちらはこちらで大切に文句を言わないで日々健康に生活していると思っています。今回の会報黄城から会費を納めなくても無料で贈呈して下さり、ありがとうございます。来年の会報も今から心待ちしています。

敬具

(平成23年9月)

お知らせ

校舎改築のお知らせ

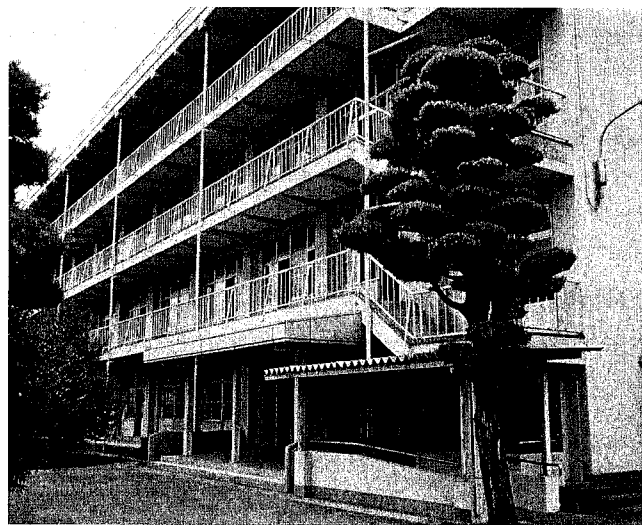
小城市高等学校では、4階建ての普通教室棟の老朽化のため、既設教室棟を解体し、3階建ての教室棟を新設する予定です。

大まかな工事スケジュールは下記の予定です。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【教室棟改築工事全体スケジュール】

- 1 仮設校舎設置工事
平成25年6月下旬～平成25年9月
- 2 既設校舎解体工事
平成25年10月～平成26年1月
- 3 教室棟新築工事
平成26年3月～平成27年1月
- 4 仮設校舎解体工事
平成27年2月～平成27年3月



投稿募集

会員の皆様の投稿を心よりお待ちしております。同窓会写真なども歓迎します。毎年4月末までに事務局宛てにお送り下さい。



第10回記念ゴルフコンペ

優勝

福地 経人氏!!

毎年恒例の第10回記念黄城会ゴルフコンペ（佐賀支部主催）が5月19日（日）大和不動カントリークラブに於いて開催されました。総勢65名の参加があり福地経人氏の優勝で幕を閉じ無事終了することができました。また参加者からチャリティー募金が寄せられましたので贈らせていただきました。

なお上位入賞者の方々は次の通りとなっております。開催にあたって準備等ご尽力いただいた方々誠にありがとうございました。

優勝	福地 経人
準優勝	真崎 俊夫
3位	鳥越 克彦
4位	下村 昌隆
5位	木村 信文
6位	山田 智明
7位	池田 浩一
8位	江口 尚久
9位	堤 謙太
10位	古川 輝幸

黄城教育会館に避難用階段を建設しました



平成元年に、会員の皆様の多大なご支援とご協力で、黄城教育会館は建設、落成いたしました。以来、今年度まで25年にわたり母校の生徒達の学習や部活動、同窓会活動の場所として活用されて参りました。所期の目的に十分合致した活用がされてきました。黄城教育会館の諸施設設備につきましては、20年余

の使用により、種々調整・修理を必要としてきましたが、随時適切に対応処理して参り今日に至っております。

黄城教育会館には災害発生時には適切に対処できるように、消防法等の規則に即して避難梯子、スロープが2、3階のベランダには取り付けてあります。これまで、災害や事故に見舞わ

れることなくこれらの避難施設（用具）を使用することは無く幸いでありましたが、20年余の年月で施設設備も見直すことになりました。平成23・24年度に近県のいくつかの施設で火災事故が起こり、死亡等の犠牲者が発生したことを新聞テレビ等の報道で知り、黄城教育会館でそのような事故が発生したら、合宿等で数十名の避難が必要な場合、既存の避難梯子やスロープでは覚束無く、数十名で安全に避難ができるしっかりした避難階段の建設が必要と考えました。役員会にかけて検討の結果建設に取り掛かり、800万円ほどの多額な費用がかかりましたが、昨年11月に無事完成いたしました。災害はあってはいけない事ですが、もしもの時を考えて安心安全の体制として避難用階段を作りました。

黄城会総会をおえて



2013年度黄城会総会実行委員会

実行委員長 東島 朗 (高校40回)

創立114周年、2013年度黄城会総会準備、並び実施にあたり、我々40期を支え、ご指導、ご協力下さったすべての皆様方に心より深く深く感謝申し上げます。

数多くの先輩方に支えられ、多数のご参加頂き5月3日の黄城会総会を盛会に開催する事が出来ました事を御礼申し上げます。

約1年半前から40期の皆と準備をし始めましたが、「何をどうして、どうするのか」さえ分からなかったのが正直な思いでした。その時、39期の先輩方が、ゆっくり分かりやすく教えていただきました。所謂、われわれ40期にとって「黄城魂を繋ぐ」のスタートでした。

そして、関東、中京、関西、福岡、北九州・関門、唐津、多久各支部に

行かせていただき、多くの多くの先輩方とお会いでき、色んなお話をさせて頂き今まで知らなかったことや、勉強になったこと、感動したこと、思いやりの大切さを改めて感じ、また「我々が何をすべきか」が分かってきたような感じを40期の皆が感じた～瞬間～があったように思います。そこから何かが変わっていったのです。それまでは、大変尊敬する39期の先輩方のマネをするという動きをしている自分達にそうあってはならないという思いが膨らんでいき、我々「40期らしく」に移行していき、オリジナリティーを活かしていこう！もちろん伝統をいかしながら、沢山の方々が、お見えになる黄城会総会を心から楽しんでもらおうと強く思いました。

各支部総会では、「佐賀から孫がきたみたい」「大変だろうけど頑張ってる」「ご苦労さん」「黄城会は世界平和のためにある」沢山のお言葉、勇敢、勇気つけられたいへん嬉しく思ったことを今でも鮮明に記憶しております。それから40期の皆が「楽しんでもらおう」と力を合わせ5月3日に真正面からむかいみんなのお陰で総会を盛り上げる事ができ、大変充実した人生においての一瞬でした。その後15名の恩師の先生方を含む130名の大同窓会になり、2回目の青春を感じさせてもらった「40期でした」

まだまだこれからの活動で41期の後輩に繋いで参りますので、ほんの少しの勇気とご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

饅頭会を終えて



2014年度黄城会総会実行委員会

実行委員長 飯盛 宏徳 (高校41回)

この度2014年度実行委員長になりました、飯盛宏徳と申します。

黄城会とは幼少の頃から聞いてはありましたが、今回当番回期となり実際に関わるようになって、これが伝統ある黄城会なのかと身にしみて感じております。先日114回総会では饅頭会のお世話を致しました。沢山お見えになる先輩方を精一杯お迎えしました。遠来から地元から、顔見知りの方そうでない方、しかし黄城会という事で一つにまとまる連帯感の強さに敬服致しました。

私ごとですが黄城会との関わりは旧中2回卒の祖父弁儒に始まり、父親が新高6回卒、伯母達も新高3回、

高女24回卒と、大叔母の尾崎（後に深海）に至っては体育教師として永年勤めておりました。その縁でまた自宅がお寺という事もあり、度々黄城会には携わってまいりました。その昔体育祭での仮装行列の準備会場になったり、分団の旗竿の竹きりに来られたり、バレーボールの明朗クラブの発会式があったり、夏の甲子園出場の頃は選手の方と一緒に座禅をしたりと、小城高、黄城会とは折に触れ関係があったように思います。

今自分たちがあるのは、いろいろなご縁があって生かしていただいているのだと思います。お世話になった母校にも出来る限り恩返しをした

いという思いから、当番回期を務めようと思います。日頃お会いする方々が黄城会の先輩ばかりで理事会評議委員会等お会いするたびに、激励を戴いているところです。

まだ同窓生としては未熟な私達41期生ですが、今年の饅頭会を無事に終える事ができました。来年の総会に向け当番回期として自覚と誇りを持ち、先輩たちをお出迎えする準備を進めてまいりたいと思います。

来年もお越しいただくことを楽しみにしておりますので、どうぞ今年1年よろしくお願い致します。

平成25年度黄城会役員一覧

▷会長 = 岩松要輔 (高10回)▷副会長 = 七田義孝 (高15回) 川副春海 (高26回) 井手真喜子 (高29回)▷顧問 = 坂本武敏 (校長) 大塚政文 (教頭)▷理事 = 石井倫平 (中45回) 内野正久 (高3回) 永池安彦 (高4回) 川副富男 (高5回) 林口彰 (高6回) 兵働文雄 (高7回) 大野雅央 (高8回) 真子輝雄 (高11回) 小柳平一郎 (高12回) 中尾久司 (高

13回) 森永四郎 (高14回) 梅崎茂弘 (高16回) 松尾剛之 (高17回) 野田和良 (高18回) 小野茂 (高19回) 野田豊秋 (高20回) 江口隆陽 (高21回) 坂井一弥 (高22回) 堤覚三 (高23回) 古賀正人 (高24回) 圓城寺猛 (高25回) 横尾俊彦 (高27回) 井手美保子 (高28回) 堤雅彦 (高29回) 岡正幸 (高30回) 安永正 (高31回) 伊東猛彦 (高32回) 水田信 (高33回)

真崎俊夫 (高34回) 松尾直人 (高35回) 西岡聖師 (高36回) 梶原聖司 (高37回) 北島清孝 (高38回) 北村武士 (高39回)▷監事 = 梶原千尋 (高5回) 金丸盛登 (高9回) 福田知恵子 (高26回)▷事務局長 = 外尾美好 (高20回)▷庶務 = 山崎史子 (高41回)▷会計 = 大場知子 (高37回)

支部役員一覧

[関東支部]▷支部長 = 山崎嶺昭 (高9)▷幹事長 = 榎崎進 (高14)▷事務局長 = 川副隆之 (高32)
[中京支部]▷支部長 = 久本哲義 (高11)▷副支部長 = 庭木利秀 (高7) 川島公子 (高11) 梅谷雅和 (高17)▷庶務 = 江里口多美雄 (高21)▷事務局長 = 堤淳 (高40)
[関西支部]▷支部長 = 米田数英 (高10)▷副支部長 = 服部登代子 (高4) 新田安典 (高22)▷事務局長 = 吉谷弘 (高30)

[関門・北九州支部]▷支部長 = 野中栄三 (高3)▷副支部長 = 橋間啓人 (高9)▷幹事長 = 永山重隆 (高13)
[長崎支部]▷支部長 = 中村利夫 (中37)▷副支部長 = 大場勝彦 (高11)
[県庁支部]▷支部長 = 大坪広幸 (高27)▷幹事長 = 久本智博 (高28)
[福岡支部]▷支部長 = 武富一三 (高8)▷副支部長 = 池田義實 (高8) 養田喜美代 (高14)▷幹事長 = 山口順蔵 (高18)
[佐賀支部]▷支部長 = 山田浅雄 (高2)

▷副支部長 = 梶原千尋 (高5) 安藤真行 (高15) 宮原史枝 (高15)▷幹事長 = 江里口勉 (高16)
[唐津支部]▷支部長 = 白石元秀 (高7)▷副支部長 = 永淵明則 (高16)▷事務局長 = 鮎川正博 (高28)
[多久支部]▷支部長 = 吉浦啓一郎 (高15)▷副支部長 = 牛島和廣 (高17) 尾形節子 (高4)▷幹事長 = 内野正久 (高3)▷事務局長 = 古賀通雄 (高23)

平成24年4月～平成25年3月までの物故者 (敬称略)

(回期) 氏名 [住所]

(旧中) (27) 太田 宗雄 [佐賀市] (27) 大屋浅一 [小城市] (27) 平山 文三 [大阪市] (28) 陣内 幸衛 [筑紫野市] (28) 田中 七郎 [柏市] (29) 辻本 矢 [長崎市] (30) 森永 熊一 [佐賀市] (31) 大弓 繁 [熊本市] (32) 大坪 勝 [小城市] (32) 深川 種彦 [佐賀市] (33) 岡 由三郎 [葛飾区] (33) 西岡 三郎 [遠賀郡] (33) 真子 貞彦 [小城市] (36) 池田 満穂 [佐賀市] (37) 天ヶ瀬 政彦 [福岡市] (37) 江頭 昇 [杵島郡] (37) 高塚 弘 [小城市] (37) 村山 良信 [多久市] (37) 森 肇 [杵島郡] (39) 合川 孝夫 [福岡市] (39) 木立 邦彦 [福岡市] (40) 牧口 茂 [宗像市] (40) 村山 浩蔵 [木更津市] (41) 小田原 啓雅 [福岡市] (41) 田中 康盛 [小城市] (41) 多々良 健治 [福岡市] (42) 池田 孝喜 [田辺市] (42) 江口 正雪 [杵島郡] (42) 北島 雅利 [小城市] (42) 土井 輝男 [鳥栖市] (42) 百崎 良平 [佐賀市] (43) 小寺 辰夫 [佐賀市] (43) 森 孝 [小城市] (44) 下野 一郎 [小城市] (44) 鶴丸 良幸 [佐賀市] (44) 渡辺 昌彦 [桑名市] (45) 大屋 和彦 [佐賀市] (45) 田中丸 留 [小山市] (45) 林 昭 [佐世保市] (46) 瀬野 雅昭 [江南市] (46) 久富 五雄 [佐賀市] (46) 増田 弘 [小城市] (46) 本島 英敏 [春日市] (47) 陣内 清宏 [小城市]

(高女) (7) 田中 タカ [多久市] (8) 古賀 ムメ [多久市] (9) 柳武 ツヤ [飯塚市] (10) 橋本 八重子 [小城市] (11) 芹田 タツ [佐賀市] (12) 円城寺 榮子 [小城市] (12) 原口 スキ子 [佐賀市] (13) 古川 ツヤ [多久市] (14) 光岡 シヅ [佐賀市] (16) 市川 ヤエ子 [佐賀市] (17) 箭原 佐代ケサ [宮崎市] (17) 右近 ユイ [佐賀市] (17) 江頭 キク子 [小城市] (18) 新郷 タエコ [伊豆国市] (18) 星野 貞子 [伊賀市] (18) 宮副 恒子 [小城市] (19) 原口 寿万子 [武雄市] (19) 笠原 春枝 [小城市] (20) 谷本 スミ [久留米市] (20) 小川 ミチ子 [伊万里市] (20) 永橋 娑恵子 [小城市] (23) 富永 藤野 [神埼郡] (23) 渡邊 稔子 [福岡市] (24) 池口 フミエ [小城市] (24) 百武 久子 [杵島郡] (25) 野中 敏子 [小城市] (26) 伊東 重子 [新宿区] (27) 船田 弘子 [浦和市] (27) 中尾 恵子 [佐賀市] (高校) (2) 副島 新三 [佐賀市] (2) 成富 正昭 [多久市] (2) 松尾 博 [小城市] (3) 北島 光雄 [新潟市] (3) 松本 恒尋 [別府市] (3) 南里 愛子 [四街道市] (4) 江口 定條 [佐賀市] (4) 野中 靖成 [川崎市] (4) 松村 亨 [佐賀市] (4) 吉田 安丸 [福岡市] (4) 岸川 マスコ [多久市] (6) 古賀 慶保 [小城市] (7) 石井 貞光 [墨田区] (8) 久保 大輔 [小城市]

(8) 下村 勝也 [小城市] (8) 宝蔵寺 久雄 [横浜市] (8) 武内 美智子 [ふじみ野市] (9) 冬野 義人 [姫路市] (9) 武富 敏子 [佐賀市] (10) 尾形 宗善 [京都市] (10) 副島 豊美 [名張市] (11) 江頭 正盛 [福岡市] (11) 戒田 福美 [南埼玉郡] (11) 森永 弘 [小城市] (11) 米谷 紘一 [大野城市] (13) 南里 戦人 [多久市] (13) 古川 衛 [佐賀市] (15) 永淵 広人 [泉南市] (15) 石田 幸子 [大東市] (17) 篠原 幸則 [小城市] (17) 村山 政徳 [小城市] (17) 川浪 榮子 [多久市] (18) 河野 誠 [大野城市] (18) 南里 正剛 [小城市] (19) 古賀 幸夫 [小城市] (19) 真子 敏行 [佐賀市] (22) 南里 佐知子 [不明] (29) 林 斉 [小城市] (29) 吉谷 勝彦 [多久市] (29) 黒田 真理 [川崎市] (30) 野副 武志 [小城市] (31) 松永 亮雄 [小城市] (32) 古賀 健次 [小城市] (34) 西村 祐文 [小城市] (34) 諸泉 史一 [小城市] (41) 福永 智美 [福岡市] (定時) (本1) 山口 昭義 [小城市] (本2) 小松 繁喜 [唐津市] (本3) 永井 政行 [多久市] (本6) 江頭 明弘 [小城市] (本10) 福田 裕芳 [小城市] (本27) 岸武 幸子 [多久市] (牛1) 瀨野 俊昭 [小城市] (多5) 駄原 佐行 [多久市]

寄付金・寄贈

(平成24年4月～平成25年3月)

寄付金 高校30回生様 (回期助成金) 1,600円/副田洗一様 (高校3回) 1,000円/高校14回生一同様 (卒業50周年) 20,000円/高塚富江様 (高女24回) 1,000円/佐賀支部主催黄城会第9回ゴルフコンペより 20,000円
寄贈図書 高校10回 岩松要輔様 『小城歴史読本』/高校7回 白石元秀様 第8号『ふたり』/高校8回 中元寺松男様 『自選 山形博導画集』/書聖・中林梧竹没後100年記念事業 実行委員会事務局様 特別展図録『中林梧竹 没後百年記念展』
寄贈絵画 村岡一郎様・村岡多摩様 油彩画4点『湯浴み』『笛』『ルノアール邸の庭』『横顔』(旧中26回 村岡平蔵氏作) 高校20回卒業生一同様 現代絵画『古い街』(高校20回 北島治樹氏作)

事務局通信

佐賀県立小城高等学校 黄城会事務局
 〒845-0001 佐賀県小城市小城町176番地 TEL・FAX (0952)72-7128
 E-mail : ojyokai@galaxy.ocn.ne.jp URL : http://www.ojyokai.org/

今年も会員の皆様のご協力のもと、会報「黄城」を発行することができました。封詰めを手伝ってくださった回期の皆様方、ありがとうございました。

多くの会員の皆様のお手元に会報をお届けできますように、各回期・支部・個人の方で住所などの変更があった場合は、毎年5月末までに事務局までご連絡ください。

黄城教育会館では黄城会会員の同窓会活動による会館使用について無料でご利用いただいております。ご利用の場合は事務局までご連絡ください。

平成25年度 支部総会予定日

*平成25年度の支部総会開催日をお知らせいたしますのでご参加ください。
 (時間、会場等は各支部へお尋ねください)

支部名	予定日	氏名	電話
関東	H25 10/26(土)	幹事長 檜崎 進	042-324-5857
関西	H25 10/20(日)	事務局長 吉谷 弘	06-6170-1640
中京	未定	事務局長 堤 淳	056-152-9252
関門・北九	未定	幹事長 永山 重隆	093-771-0081
福岡	H25 10/12(土)	幹事長 山口 順蔵	092-591-2847

支部名	予定日	氏名	電話
長崎	未定	副支部長 大場 勝彦	095-823-0637
唐津	H26 2/2(日)	事務局長 鮎川 正博	090-4997-1372
佐賀	H25 10/6(日)	幹事長 江里口 勉	0952-31-9236
県庁	未定	事務局長 久本 智博	090-3070-1609
多久	H26 2/9(日)	事務局長 古賀 通雄	0952-75-3629

事務局長就任のごあいさつ



事務局長 外尾 美好 (高校20回)

このたび、大野前事務局長の後任として事務局にお世話になることになりました、高校20回卒業の外尾(ほかお)と申します。両親が、小城駅通りの本町で平成元年までラーメン専門店「変竹林」を営んでいましたので、会員の皆さまの中には、学校帰りなどに寄っていただいた方もあろうかと存じます。私は、たまに手伝ってはいましたが家業を継ぐことには縁がないまま、3年前まで県立学校の事務室に勤務しておりました。それまで10校ほどの学校で勤務しました。

同窓会のことはというと、我々同窓会のお世話に20年ほど携わっておりますが、黄城会本部の事務局は規模も内容も異なり戸惑うことばかりです。

黄城会の目的であります、会員相互の親睦を図り、かつ、母校小城高等学校の発展のため、微力ではございますが一所懸命努める所存でございますので、会員の皆さまの旧に倍するご協力をよろしくお願い致します。

新役員(副会長、監事)の紹介

志藤茂子副会長(高校16回)が平成24年2月に逝去され、副会長1人欠員の状態が続いておりました。このたび、井手真喜子監事(高校29回)が副会長に就かれ、その後任には、佐賀支部幹事の福田智恵子(高校26回)さんをお願いすることになりました。

回期便り、募集します

各卒業年次別の回期便りを平成21年度から会報に同封しております。

昨年は、20回期ほどの回期の幹事(理事、評議員のみなさま)さんから、回期便りを作成して頂きました。今後も、同級生の身近な通信を、幹事さんに作って頂き、配布していこうと計画しております。作成は大変でしょうが、よろしくお願い申し上げます。

平成24年度 黄城教育会館育英奨学生

平成24年度の黄城教育会館育英奨学生は3学年合わせて12名でした。3年生の進学状況は熊本大学1名、長崎大学1名、西南学院大学1名決まりました。

編集後記

先日初めて入院をして周りに大迷惑をかけてしまいました。しかし家族や仕事先、病院の方々に助けていただいたことに幸せを感じ、また夢にまで見た上げ膳据え膳の三度三度の食事に幸せを感じ、なにより健康が一番幸せだと実感した貴重な体験となりました。(事務局：山崎)